

一般演題（口演）

■日時：12月5日（金） 9:10～10:10

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

口演1（臨床・C）

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎1

座長 高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

菊池 嘉

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター）

001-1 抗HIV・抗結核療法中に発症したトキソプラズマ脳炎の1例

窪野裕太^{1,2)}、川島 亮^{1,3,4)}、中本貴人^{1,4)}、川原史也³⁾、佐々木充子¹⁾、桑田 亮¹⁾、阿部静太郎¹⁾、井上恵理¹⁾、安藤尚克¹⁾、柳川泰昭¹⁾、上村 悠¹⁾、水島大輔^{1,4)}、青木孝弘¹⁾、永宗喜三郎³⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,4)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 総合感染症科 / 国際感染症センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部
- 4) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

001-2 HIV 感染判明時に進行性多巣性白質脳症 (PML) を合併していた後天性免疫不全症候群 (AIDS) の2症例

木村 哲¹⁾、内田康裕¹⁾、亀井奈緒美¹⁾、深津真彦¹⁾、阿部亜妃子²⁾、移川基子³⁾、梅宮真衣⁴⁾、木村奈津子⁴⁾、野田ゆかり⁵⁾、松本貴智⁶⁾、岩崎紗織⁷⁾、金井数明²⁾、池添隆之¹⁾

- 1) 福島県立医科大学 血液内科学講座
- 2) 福島県立医科大学 脳神経内科学講座
- 3) 福島県立医科大学附属病院 薬剤部
- 4) 福島県立医科大学附属病院 看護部
- 5) 福島県立医科大学附属病院 心身医学科
- 6) 福島県立医科大学 大学健康管理センター
- 7) 福島県立医科大学附属病院 医療連携相談室

001-3 播種性 Mycobacterium avium complex 症による免疫再構築症候群に合併した形質芽球性リンパ腫の1例

三浦基嗣¹⁾、相澤陽太¹⁾、関谷綾子¹⁾、福島一彰¹⁾、山本浩貴¹⁾、吉田恭子¹⁾、鵜飼康平^{1,2)}、鄭 瑞雄¹⁾、田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、今村顕史¹⁾

- 1) 都立駒込病院 感染症科
- 2) 東京都保健医療局 感染症対策部 調査・分析課

001-4 未治療のHIV陽性者に生じた肝原発多発Burkittリンパ腫の1例

丸木孟知¹⁾、馬渡桃子¹⁾、内野康志²⁾、谷口博順²⁾、小倉瑞生³⁾、上田晃弘¹⁾

- 1) 日本赤十字社医療センター 感染症科
- 2) 日本赤十字社医療センター 消化器内科
- 3) 日本赤十字社医療センター 血液内科

001-5 Temporal Trends and HIV-Stratified Risk of Peripheral Neuropathy During Rifampicin-Resistant TB Treatment in South Africa

Yui Shintani^{1,2)}、Jason E. Farley³⁾、Kelly Lowensen³⁾、Marie Diener-West¹⁾

- 1) Bloomberg school of public health, Johns Hopkins University
- 2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan Institute for Health Security
- 3) Nursing Leadership and Innovation Johns Hopkins University School of Nursing

001-6 HIV陽性MSMにおける肛門擦過細胞診の実施状況と異型扁平上皮細胞の頻度に関する検討

渋谷晃子、森 信好

聖路加国際病院感染症科

■日時：12月5日（金） 9:10～10:10

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演2（社会・S）

政策・医療体制

座長 岩橋恒太

（特定非営利活動法人 akta）

和田秀穂

（川崎医科大学 総合臨床医学）

002-1 日本エイズ学会における早期治療推進検討委員会の設立とその目的

井上洋士^{1,10)}、田沼順子^{2,10)}、谷口俊文^{3,10)}、四本美保子^{4,10)}、松下修三^{5,10)}、椎野禎一郎^{6,10)}、生島 嗣^{7,10)}、高久陽介^{8,10)}、金子典代^{9,10)}、葛田衣重^{3,10)}、杉浦 亙^{6,10)}

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 国際医療福祉大学医学部
- 3) 千葉大学医学部附属病院
- 4) 東京医科大学病院
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 認定NPO法人ふれいす東京
- 8) NPO日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 10) 一般社団法人日本エイズ学会

一般演題（口演）

002-2 HIV 陽性者の精神科受診促進に向けた連携構築に関する実態調査—全国のエイズ診療拠点病院に勤務する感染症内科医への調査（第一報）—

香月邦彦¹⁾、平川夏帆²⁾、石丸大貴³⁾、鈴木麻希^{4,5)}、池田 学⁵⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 大阪大学医学部附属病院 神経科精神科
- 3) 大阪大学医学部附属病院 医療技術部リハビリ部門 神経科精神科
- 4) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学
- 5) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室

002-3 HIV 陽性者の精神科受診促進に向けた連携構築に関する実態調査—全国のエイズ診療拠点病院に勤務する感染症内科医への調査（第二報）—

平川夏帆¹⁾、鈴木麻希^{2,3)}、香月邦彦^{3,4)}、増田柚衣^{3,4,5)}、池田 学³⁾

- 1) 大阪大学医学部附属病院 神経科精神科
- 2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 京都大学大学院 人間・環境学研究科

002-4 診療所における HIV 感染症診療の試み—第 18 報

根岸昌功、河村（荒井）祐貴子、河野小夜子、西岡春菜

ねぎし内科診療所

002-5 性感染症科目を併設した HIV 診療クリニックの意義 — 2 年目の報告 —

迫田直樹¹⁾、中川あゆみ¹⁾、矢倉裕輝^{1,2)}、白阪琢磨^{1,2)}、古林敬一¹⁾

- 1) たによんスタートクリニック
- 2) 国立病院機構大阪医療センター

002-6 がん末期の血友病（類縁疾患含む）患者と HIV 陽性者の緩和ケア病棟での受入れについて

岡本 学^{1,5)}、渡邊 大²⁾、相木佐代³⁾、関根知嘉子^{4,5)}、長谷川友美^{4,5)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV 地域医療支援室
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター緩和ケア内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センターがん相談支援センター
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室

■日時：12 月 5 日（金） 9:10～10:00

■会場：第 6 会場（3F 会議室 D1-2）

口演 3（臨床・C）

臨床薬理・PK/PD・薬剤耐性

座長 矢倉裕輝

（国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部）

菊地 正

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

003-1 ビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド配合錠投与時のテノホビル血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝^{1,2)}、中内崇夫²⁾、岸田啓太郎²⁾、祝洸太郎²⁾、小西啓司³⁾、廣田和之³⁾、上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾、渡邊 大^{1,3)}

- 1) 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
- 3) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

003-2 曝露前予防内服における乾燥ろ紙血中の TFV-DP および FTC-TP 濃度についての検討

土屋亮人¹⁾、林 善治²⁾、劉 晶榮²⁾、Hieu Trung Tran^{1,3)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、水島大輔^{1,3)}、岡 慎一^{1,3)}、潟永博之^{1,3)}、濱田哲暢²⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立がん研究センター 研究所 分子薬理研究分野
- 3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

003-3 大量失血を伴う手術時におけるレナカパビルの血中濃度の推移

遠藤知之^{1,2)}、田澤佑基^{2,3)}、新井崇之³⁾、後藤秀樹^{2,4)}、松川敏大^{2,4)}、荒 隆英^{2,4)}、長谷川祐太^{2,4)}、長井 惇^{4,5)}、森本朝子^{4,5)}、高橋知希^{4,5)}、後藤了ー^{2,6)}、嶋村 剛⁷⁾、原 貴信⁸⁾、曾山明彦⁸⁾、江口 晋^{2,4)}、豊嶋崇徳^{2,4)}

- 1) 北海道大学病院 感染制御部
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院 薬剤部
- 4) 北海道大学病院 血液内科
- 5) エイズ予防財団
- 6) 北海道大学病院 消化器外科 I
- 7) 北海道大学病院 臓器移植医療部
- 8) 長崎大学大学院 移植・消化器外科学

003-4 2024 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向

菊地 正¹⁾、西澤雅子¹⁾、林田庸総¹⁾、
瀧永博之¹⁾、豊嶋崇徳²⁾、吉田 繁³⁾、
伊藤俊広⁴⁾、古賀道子⁵⁾、長島真美⁶⁾、
貞升健志⁶⁾、佐野貴子⁷⁾、宇野俊介⁸⁾、
谷口俊文⁹⁾、猪狩英俊⁹⁾、寒川 整¹⁰⁾、
中島秀明¹⁰⁾、吉野友祐¹¹⁾、堀場昌英¹²⁾、
茂呂 寛¹³⁾、渡邊珠代¹⁴⁾、今橋真弓¹⁵⁾、
松田昌和¹⁵⁾、重見 麗¹⁵⁾、岩谷靖雅¹⁵⁾、
横幕能行¹⁵⁾、渡邊 大¹⁶⁾、阪野文哉¹⁷⁾、
川畑拓也¹⁷⁾、藤井輝久¹⁸⁾、高田清式¹⁹⁾、
末盛浩一郎¹⁹⁾、中村麻子²⁰⁾、南 留美²¹⁾、
松下修三²²⁾、仲村秀太²³⁾、小島潮子¹⁾、
Lucky Runtuwene¹⁾、椎野禎一郎¹⁾、
吉村和久⁶⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構
2) 北海道大学
3) 北海道医療大学
4) 仙台医療センター
5) 東京大学
6) 東京都健康安全研究センター
7) 神奈川県衛生研究所
8) 慶應義塾大学
9) 千葉大学
10) 横浜国立大学
11) 帝京大学
12) 東埼玉病院
13) 新潟大学
14) 石川県立中央病院
15) 名古屋医療センター
16) 大阪医療センター
17) 大阪健康安全基盤研究所
18) 広島大学
19) 愛媛大学
20) 福岡県保健環境研究所
21) 九州医療センター
22) 熊本大学
23) 琉球大学

003-5 BIC/TAF/FTC による初回の抗ウイルス療法に耐性を示し DRV/cobi/TAF/FTC+DTG(BID) への切り替え後に治療成功が得られた HIV 感染症の一例

西谷真来¹⁾、小宅達郎¹⁾、工藤正樹²⁾、
朝賀純一²⁾、岡野良昭¹⁾、古和田周吾¹⁾、
伊藤薫樹¹⁾

- 1) 岩手医科大学 内科学分野 血液腫瘍内科
2) 岩手医科大学附属病院薬剤部

■日時：12月5日（金） 10:10～11:00

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 4（臨床・C）
抗 HIV 療法 1

座長 中田浩智
(熊本大学 感染免疫診療部)

村松 崇
(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

004-1 Efficacy and Safety After Switch to Doravirine/Islatravir (100/0.25 mg) Once Daily: Week 48 Results From Two Phase 3 Studies in Adults Living With HIV-1

木内 英¹⁾、瀧永博之²⁾、
横幕能行³⁾、白坂琢磨⁴⁾、宮澤有哉⁵⁾、
山田桃香⁵⁾、Stephanie O. Klopfer⁶⁾、
Rima Lahoulou⁷⁾、Jason Yun Kim⁶⁾、
Luisa M. Stamm⁶⁾、Michelle C. Fox⁶⁾、
初澤由香理⁵⁾

- 1) 東京医科大学病院
2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
3) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
4) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
5) MSD 株式会社
6) Merck & Co., Inc.
7) MSD France

004-2 Efficacy and Safety by Age After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg): Week 48 Results from Two Phase 3 Studies in Adults Living with HIV-1

Pablo Tebas¹⁾、Frank A. Post²⁾、
Moti Ramgopal³⁾、Marcel Stoeckle⁴⁾、
Andrew Carr⁵⁾、Olayemi O. Osiyemi⁶⁾、
Ronald G. Nahass⁷⁾、
Harold P. Katner⁸⁾、Jason Szabo⁹⁾、
Anjana Grandhi¹⁰⁾、Monica Fuszard¹¹⁾、
Stephanie O. Klopfer¹⁰⁾、
Rima Lahoulou¹¹⁾、Luisa M. Stamm¹⁰⁾、
Michelle C. Fox¹⁰⁾、Jason Kim¹⁰⁾、
近藤孝行¹²⁾

- 1) Penn Center for AIDS Research, University of Pennsylvania
- 2) King's College Hospital NHS Foundation Trust
- 3) Midway Immunology and Research Center
- 4) University Hospital Basel, University of Basel
- 5) St Vincent's Hospital, Sydney
- 6) Triple O Research Institute
- 7) Infectious Disease Care
- 8) Mercer University School of Medicine
- 9) L'Actuel Medical Clinic
- 10) Merck & Co., Inc.
- 11) MSD France
- 12) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

004-3 Weight and Body Composition After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg) from BIC/FTC/TAF: Week 48 Results From a Phase 3 Study

Chloe Orkin¹⁾、Fiona R. Bisshop²⁾、
湯永博之³⁾、Douglas L. Cunningham⁴⁾、
Anthony M. Mills⁵⁾、
Christopher J. Bettacchi⁶⁾、
Carolina E. Chahin Anania⁷⁾、
Michelle C. Fox⁸⁾、Yayun Xu⁸⁾、
Stephanie O. Klopfer⁸⁾、
Luisa M. Stamm⁸⁾、Rima Lahoulou⁹⁾、
服部純子¹⁰⁾

- 1) Queen Mary University of London
- 2) Holdsworth House Medical Practice
- 3) AIDS Clinical Center, Japan Institute for Health Security
- 4) Pueblo Family Physicians Ltd
- 5) Men's Health Foundation
- 6) HIV Center, North Texas Infectious Diseases Consultants
- 7) Hospital Hernan Henriquez Aravena
- 8) Merck & Co., Inc.
- 9) MSD France
- 10) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

004-4 Evaluation of Fasting Lipids and Insulin Resistance After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg): Week 48 Results From Two Phase 3 Studies

Alexandra Calmy¹⁾、Amy Colson^{2,3)}、
John R. Koethe⁴⁾、Julie Fox⁵⁾、
Simiso M. Sokhela⁶⁾、湯永博之⁷⁾、
Peter J. Ruane⁸⁾、
Gordon E. Crofoot⁹⁾、
Princy N. Kumar¹⁰⁾、
Mark T. Bloch¹¹⁾、Jason Kim¹²⁾、
Michelle C. Fox¹²⁾、Anjana Grandhi¹²⁾、
Stephanie O. Klopfer¹²⁾、
Luisa M. Stamm¹²⁾、Rima Lahoulou¹³⁾、
服部純子¹⁴⁾

- 1) Geneva University Hospital, University of Geneva
- 2) Community Resource Initiative
- 3) Cambridge Health Alliance
- 4) Vanderbilt University Medical Center
- 5) Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Guy's Hospital
- 6) Ezintsha Research Centre, Faculty of Health Sciences, University of the Witwatersrand
- 7) AIDS Clinical Center, Japan Institute for Health Security
- 8) Ruane Clinical Research Group
- 9) The Crofoot Research Center, Inc.
- 10) Georgetown University Medical Center
- 11) Holdsworth House
- 12) Merck & Co., Inc.
- 13) MSD France
- 14) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

004-5 HIV 患者における抗 HIV 療法前後の HIV 潜伏感染細胞の測定に関する研究

宮田美保¹⁾、土屋亮人¹⁾、川島 亮^{1,2)}、
松田幸樹³⁾、前田賢次³⁾、佐藤賢文²⁾、
湯永博之^{1,2)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

一般演題（口演）

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演5（社会・S） 薬害・陽性者支援

座長 中尾 綾

（愛媛大学大学院医学系研究科 感染制御学）

岡本 学

（国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室 HIV 地域医療支援室）

005-1 HIV カウンセラーの教育支援体制構築に向けた九州ブロックにおける実態調査

関口 愛¹⁾、長浦由紀²⁾、曾我真千恵³⁾

- 1) 大分大学医学部臨床薬理学講座
- 2) 長崎大学病院総合診療科
- 3) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

005-2 薬害 HIV 患者への「お声がけ」の試みに関する現状の整理と意義の検討

宮本哲雄¹⁾、安尾利彦²⁾、森田眞子²⁾、
富田朋子²⁾、西川歩美²⁾、水木 薫²⁾、
牧 寛子²⁾、神野未佳³⁾

- 1) 大阪医療センター臨床心理室 / HIV 地域医療支援室
- 2) 大阪医療センター臨床心理室
- 3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

005-3 「ゆる会」実施報告

加藤力也¹⁾、大島 岳^{1,2)}、牧原信也¹⁾、
生島 嗣¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 明治大学

005-4 薬害 HIV 感染被害者における在宅就労支援の取り組み：ペイシェントジャーニーを考慮した支援成果

田端 聡¹⁾、ライアン 千穂¹⁾、久地井寿哉^{3,4)}、
岩野友里³⁾、柿沼章子³⁾、菊池庸介²⁾、
田中良明²⁾

- 1) NPO 法人リンパカフェ
- 2) NPO 法人在宅就労支援事業団
- 3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団

005-5 HIV 陽性者参加のフォーカス・グループ・インタビューを通じて得られた、免疫機能障害による身体障害者手帳制度の認定基準改正と早期治療開始に対する意向と課題

井上洋士¹⁾、高久陽介²⁾、大島 岳³⁾、
細川陸也⁴⁾、戸ヶ里泰典⁵⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) NPO 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) 明治大学情報コミュニケーション学部
- 4) 京都府立医科大学医学部
- 5) 放送大学

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演6（基礎・B） 複製感染機構

座長 門出和精

（熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座）

櫻木淳一

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

006-1 Analysis of the effect of virologically unique synonymous single-nucleotide mutations on the HIV-1 gene expression

Quoc Bao Le¹⁾、Quoc Khanh Tran¹⁾、
駒 貴明¹⁾、土肥直哉¹⁾、近藤智之¹⁾、
稲元佑真²⁾、足立昭夫¹⁾、野間口雅子¹⁾

- 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部
- 2) 徳島大学理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム

006-2 Regulation of HIV-1 tat mRNAs production by altering nucleotide sequence surrounding the SA3 site

Quoc Khanh Tran¹⁾、Quoc Bao Le¹⁾、
駒 貴明¹⁾、土肥直哉¹⁾、近藤智之¹⁾、
伊藤颯真²⁾、久保慈英²⁾、森 大²⁾、
稲元佑真³⁾、足立昭夫¹⁾、野間口雅子¹⁾

- 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部
- 2) 徳島大学医学部医学科
- 3) 徳島大学理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム

一般演題（口演）

006-3 P-B04-1 LENACAPAVIR INHIBITS VIRAL FORMATION AT THE LATE STAGE OF THE HIV-1 LIFE CYCLE

Wright Andrews Ofotsu Amesimeku¹⁾、Yoshihiro Nakata²⁾、Hirotaka Ode²⁾、Nami Monde¹⁾、Hiromi Terasawa¹⁾、Perpetual Nyame¹⁾、Md. Jakir Hossain¹⁾、Terumasa Ikeda³⁾、Akatsuki Saito⁴⁾、Tomohiro Sawa¹⁾、Yosuke Maeda¹⁾、Yasumasa Iwatani²⁾、Kazuaki Monde¹⁾

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) National Hospital Organization Nagoya Medical Center. Clinical Research Center, Department of Infectious Diseases and Immunology.
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 4) Department of Veterinary Medicine, University of Miyazaki.

006-4 増殖性マクロファージの同定と HIV 感染との関連

高橋尚史、Sara Habash、鈴 伸也

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

006-5 マエディ・ビスナウイルスベクター系の樹立とレンチウイルス比較解析への展開

Alhaji M. Jalloh^{1,2)}、中村伊沙³⁾、萩原克郎³⁾、上野貴将²⁾、徳永研三^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所 感染病理部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 7（臨床・C）

U=U と拳児希望・母子感染・歯科 1

座長 小田知生

（国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科）

高鍋雄亮

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 歯科・口腔外科）

007-1 歯科衛生士教育機関における HIV 感染症の教育ツール作成に関する調査研究

中川裕美子¹⁾、宇佐美雄司²⁾、小田知生²⁾

- 1) 大手前短期大学 歯科衛生学科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科

007-2 卒後臨床研修歯科医師における HIV/AIDS に関する認識についての検討

宇佐美雄司¹⁾、佐藤 淳²⁾、後藤 哲³⁾、斎藤夕子⁴⁾、丸岡 豊⁵⁾、高木純一郎⁶⁾、鹿野 学⁷⁾、柴 秀樹⁸⁾、吉川博政⁹⁾

- 1) 名古屋医療センター 歯科口腔外科
- 2) 北海道大学大学院歯学研究科口腔診断内科学教室
- 3) 仙台医療センター 歯科口腔外科
- 4) 新潟大学歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野
- 5) 国立国際医療センター 歯科・口腔外科
- 6) 石川県立中央病院 歯科口腔外科
- 7) 大阪医療センター 歯科口腔外科
- 8) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室
- 9) 九州医療センター 歯科口腔外科

007-3 HIV 感染血友病患者の抜歯処置に関する課題の検討

宮本里香¹⁾、上村 悠¹⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、野崎宏枝¹⁾、佐々木愛美¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、杉野祐子¹⁾、谷口 紅¹⁾、栗田あさみ¹⁾、大杉福子¹⁾、高橋昌也¹⁾、木村聡太¹⁾、近藤順子²⁾、中本貴人¹⁾、高鍋雄亮²⁾、丸岡 豊²⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療センター 歯科・口腔外科

007-4 HIV をふくむ性感染症に関する知識・情報の普及啓発 ～ SNS を用いた情報発信の長期的動向～

高野政志^{1,2)}、喜多恒介^{2,3,4)}、川島史奈⁴⁾、鈴木ひとみ^{2,3,5)}、羽柴知恵子^{2,3,6)}、三上由美子^{2,3,7)}、出口雅士^{2,8)}、杉浦 敦^{2,9)}、田中瑞恵^{2,10)}、喜多恒和^{2,11)}、高橋尚子^{2,12)}、吉野直人^{2,12)}

- 1) 防衛医科大学校医学教育部医学科産科婦人科学講座
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」
- 3) 分担班「多様な世代の国民向け HIV 感染妊娠の情報啓発アプローチの実践と基盤開発に向けた 研究」
- 4) 株式会社キタイエ
- 5) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発 センター
- 6) 名古屋医療センター看護部エイズ治療 開発センター
- 7) 防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学講座
- 8) 神戸大学大学院医学研究科 外科系 講座産科婦人科 / 地域社会医学・健康 科学講座地域医療ネットワーク学分野
- 9) 武蔵野赤十字病院 産婦人科
- 10) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 小児科
- 11) 株式会社 農と科学の喜多研究所
- 12) 愛知県立大学看護学部

一般演題（口演）

007-5 死因の変化からみる HIV と共に生きる人々（PWH）への療養支援を考える

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、仲村秀太²⁾、石郷岡美穂³⁾、上原 仁⁴⁾、大田久美子⁴⁾、上 薫³⁾、照屋美波⁵⁾、山川奈津子⁶⁾、新里尚美⁷⁾、金城隆展⁸⁾

- 1) 琉球大学病院看護部
- 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 3) 琉球大学病院医療福祉センター
- 4) 琉球大学病院薬剤部
- 5) 琉球大学病院精神科神経科
- 6) 琉球大学病院検査・輸血部
- 7) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部

■日時：12月5日（金） 14:30～15:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 8（社会・S）
薬害

座長 藤井輝久

（広島大学病院 輸血部 エイズ医療対策室）

長尾 梓

（関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科）

008-1 国立国際医療センターにおける薬害 HIV 感染者の入院に関する実態調査

井上桃花¹⁾、影森彩夏¹⁾、嶋津佑乃¹⁾、前田愛子¹⁾、陳 麻理¹⁾、河原崎彩佳²⁾、大木悦子³⁾、池田和子⁴⁾、潟永博之⁴⁾、青木孝弘⁴⁾、照屋勝治⁴⁾、上村 悠⁴⁾、大金美和⁴⁾、大杉福子⁴⁾

- 1) 国立国際医療センター看護部
- 2) 国立国際医療センター人材開発部研修課
- 3) 国立看護大学校研究課程部
- 4) エイズ治療・研究開発センター

008-2 全国の HIV 感染血友病等患者の薬害被害救済のために、ACC 救済医療室で行っている活動

上村 悠、大杉福子、佐藤愛美、野崎宏枝、鈴木ひとみ、大金美和、木村総太、高橋昌也、宮本里香、中本貴人、青木孝弘、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

008-3 中核拠点病院およびブロック拠点病院連携による非拠点病院通院薬害 HIV 感染被害患者への支援

柿沼章子¹⁾、久地井寿哉^{1,2)}、岩野友里¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

008-4 薬害 HIV 被害血友病患者における支援継続を阻む要因と今後の支援体制の課題：拠点病院通院患者への支援事例

岩野友里¹⁾、久地井寿哉^{1,2)}、柿沼章子¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

008-5 薬害 HIV 感染被害者の医療アクセスにおける移動負担の実態と関連要因

久地井寿哉^{1,2)}、岩野友里¹⁾、柿沼章子¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

008-6 被害者カテゴリーのパラドックス（二律背反性）

山田富秋¹⁾、早坂典生²⁾、種田博之³⁾、入江恵子⁴⁾、小川良子⁵⁾、宮本哲雄⁶⁾、松枝亜希子⁷⁾

- 1) 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所
- 2) 特定非営利活動法人 りょうちゃんず
- 3) 産業医科大学
- 4) 北九州市立大学
- 5) 医療法人社団 葵会 本永病院
- 6) 国立病院機構 大阪医療センター
- 7) NPO 社会理論・動態研究所

■日時：12月5日（金） 14:30～15:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 9（基礎・B）
宿主因子

座長 岸本直樹

（熊本大学大学院 生命科学研究部 附属グローバル天然物科学研究センター）

助川明香

（東京科学大学 ウイルス制御学分野）

009-1 APOBEC3 欠損 THP-1 細胞で明らかとなる HIV-1 の感染性に必要な Vif 標的の再評価

清水 凌¹⁾、Michael Jonathan^{1,2)}、齊藤 暁³⁾、門出和精⁴⁾、池田輝政¹⁾

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野
- 2) 熊本大学 医学教育部
- 3) 宮崎大学 農学部 獣医学領域
- 4) 熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座

一般演題（口演）

009-2 Deaminase-Independent HIV-1 Restriction by APOBEC3 Proteins in iPS-ML #1 Cells

Sharee Leong^{1,2)}、Hesham Nasser¹⁾、
鈴 伸也³⁾、池田輝政¹⁾

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野
- 2) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 3) Division of Infection and Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

009-3 TPI1 の核移行は HIV-1 増殖を促す

阿部人和¹⁾、安武多恵¹⁾、東竜太郎¹⁾、
枇杷孝太郎¹⁾、高宗暢暁²⁾、三隅将吾¹⁾、
岸本直樹¹⁾

- 1) 熊本大学大学院 薬学教育部
- 2) 熊本大学研究開発戦略本部

009-4 M-Sec promotes the production of infectious HIV-1 virions

Reem Fahmy¹⁾、Masateru Hiyoshi²⁾、
Shinya Suzu¹⁾

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 2) Research Center for Biological Products in the Next Generation, National Institute of Infectious Diseases.

009-5 HIV-1 の祖先ウイルスであるサル免疫不全ウイルスが動物種を超えて伝播する分子機構

芳田 剛¹⁾、Weitong Yao²⁾、俣野哲朗¹⁾、
山本浩之¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 2) 東京医科歯科大学（現：東京科学大学）

■日時：12月5日（金） 14:30～15:30

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 10（臨床・C）

U=U と拳児希望・母子感染・歯科 2

座長 今橋真弓

（国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部）

関谷綾子

（がん感染症センター都立駒込病院／東京医科大学 感染症科 臨床検査分野）

010-1 HIV 母子感染予防における児への AZT 投与方法の動向 2025

田中瑞恵¹⁾、外川正生²⁾、兼重昌夫^{1,2)}、
前田尚子²⁾、岡田陽子²⁾、中河秀憲²⁾、
北島浩二²⁾、佐々木泰治²⁾、杉浦 敦²⁾、
喜多恒和²⁾、吉野直人²⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター小児科
- 2) エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班（母子感染研究班）

010-2 HIV 感染妊娠におけるスクリーニング検査施行時期に関する検討

杉浦 敦^{1,2)}、山中彰一郎²⁾、湊 怜子^{1,2)}、
竹田善則²⁾、市田宏司²⁾、小林裕幸²⁾、
中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、高野政志²⁾、
田中瑞恵²⁾、出口雅士²⁾、喜多恒和²⁾、
吉野直人²⁾

- 1) 武蔵野赤十字病院 産婦人科
- 2) HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究班

010-3 HIV 母子感染予防が達成された 2 症例の検討

後藤亜香利¹⁾、南 元遥¹⁾、渡辺 蘭¹⁾、
白土翔太郎¹⁾、伊吹紗央莉¹⁾、須釜佑介¹⁾、
吉田正宏¹⁾、堀口拓人¹⁾、井山 諭¹⁾、
又村了輔²⁾、國本雄介²⁾、稗田広美³⁾、
川村志野³⁾、平賀多絵子³⁾、宮越郁子³⁾、
小船雅義¹⁾

- 1) 札幌医科大学附属病院 血液内科
- 2) 札幌医科大学附属病院 薬剤部
- 3) 札幌医科大学附属病院 看護部

010-4 ART 開始後まもなく拳児希望があった HIV serodiscordant couple の 1 例

岩田啓太郎、佐藤央基、西田裕介、河合夏美、
長谷川哲平、白井絢子、川村繭子、川村隆之、
岡 秀昭、塚田訓久

埼玉医科大学総合医療センター

一般演題（口演）

010-5 両者とも HIV エリートコントローラーと 考えられる夫婦例

南 建輔、石岡春彦、新妻郁未、畠山修司

自治医科大学附属病院 感染症科

■日時：12月5日（金） 15:30～16:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 11（基礎・B）
潜伏感染・リザーバー

座長 高橋尚史

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

松田幸樹

（鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

011-1 欠損型 HIV リザーバー細胞は感染初期に形成 P-B01-3 され長期的に維持される

松田幸樹¹⁾、土屋亮人²⁾、小泉吉輝²⁾、
川島 亮^{2,5)}、中村裕子³⁾、上村修司³⁾、
藤崎知園子⁴⁾、山口宗一⁴⁾、橋口照人⁴⁾、
潟永博之^{2,5)}、前田賢次¹⁾

- 1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター（ACC）
- 3) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学分野
- 4) 鹿児島大学血管代謝病態解析学分野
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

011-2 Single-Cell Analysis Reveals Chimeric HIV-MKL1 Transcripts Associated With Clonal Persistence in People Living with HIV (PLWH) under cART

Samiul Alam Rajib¹⁾、
Yukie Kashima²⁾、Yutaka Suzuki²⁾、
Hiroshi Yotsuyanagi^{3,4)}、
Hiroyuki Yamamoto^{1,5)}、
Michiko Koga^{6,7)}、
Ai Kawana-Tachikawa^{1,5,8)}、
Yorifumi Satou¹⁾

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Life Science Data Research Center, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo
- 3) Japan Institution for Health Security
- 4) The Institute of Medical Science, The University of Tokyo
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institution for Health Security
- 6) Department of Infectious Diseases, The University of Tokyo Pandemic Preparedness Infection and Advanced Research Center (UTOPIA), The University of Tokyo
- 7) Department of Infectious Diseases and Applied Immunology, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, the University of Tokyo
- 8) Division of AIDS Vaccine Development, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

011-3 腸内 dysbiosis と慢性炎症が及ぼす HIV リ P-B01-1 ザーバー維持機構の解明

水谷壮利^{1,2)}、石坂 彩³⁾、古賀道子^{4,5)}、
山本浩之²⁾、四柳 宏^{3,5,6)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
- 5) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構

一般演題（口演）

011-4 潜伏 HIV リザーバの再活性化と選択的排除を単剤にて可能にする新規低分子化合物の同定と機能解析

原雄一郎^{1,2)}、北村春樹³⁾、助川明香^{3,4)}、谷本幸介²⁾、武内寛明^{2,4,5)}

- 1) 東京科学大学 医歯学総合研究科 生体集中管理学分野
- 2) 東京科学大学 医歯学総合研究科 ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 3) 東京科学大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野
- 4) 東京科学大学 感染症センター (TCIDEA)
- 5) 東京科学大学病院

011-5 HIV-1 潜伏感染細胞排除を志向した新規 LRA 誘導体の創出と作用機序の解明

助川明香^{1,2)}、辻 耕平³⁾、松田幸樹⁴⁾、谷本幸介⁵⁾、玉村啓和³⁾、前田賢次⁴⁾、武内寛明^{2,5,6)}

- 1) 東京科学大学・大学院医歯学総合研究科・ウイルス制御学分野
- 2) 東京科学大学・バイオサイエンスセンター・御茶ノ水リサーチファシリティ
- 3) 東京科学大学・総合研究院 生体材料工学研究所・メディシナルケミストリー分野
- 4) 鹿児島大学・ヒトレトロウイルス学共同研究センター・抗ウイルス療法研究分野
- 5) 東京科学大学・大学院医歯学総合研究科・ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 6) 東京科学大学病院

■日時：12月5日（金） 15:30～16:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 12（臨床・C）
PEP・PrEP・STI・STD 1

座長 谷口俊文

（千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科）

石内崇勝

（一般社団法人天照会 いだてんクリニック）

012-1 SH 外来通院者における PrEP の継続と中断の状況について

高野 操、水島大輔、田中和子、山中宏江、新谷由衣、首藤真由美、金城理奈、青木孝弘、安藤尚克、照屋勝治、潟永博之、岡 慎一

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

012-2 日本の性感染症外来コホートにおける PrEP 利用と HIV 発生率の動向 (2017-2024 年)

新谷由衣¹⁾、水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、首藤真由美¹⁾、金城理奈¹⁾、青木孝弘¹⁾、安藤尚克¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

012-3 PrEP 時代における STI 動向と Doxy PEP の活用可能性: 2017-2024 年の SH 外来コホートからの示唆

新谷由衣¹⁾、水島大輔^{1,2)}、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、首藤真由美¹⁾、青木孝弘¹⁾、安藤尚克¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

012-4 Sexual Health 外来におけるドキシサイクリン曝露後予防による性感染症への影響

水島大輔^{1,2)}、新谷由衣¹⁾、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、青木孝弘¹⁾、安藤尚克¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

012-5 HIV 感染および非感染 MSM における淋菌・クラミジア感染の感染部位別の実態について

水島大輔^{1,2)}、新谷由衣¹⁾、高野 操¹⁾、田中和子¹⁾、出口佳美¹⁾、安藤尚克¹⁾、青木孝弘¹⁾、照屋勝治¹⁾、潟永博之^{1,2)}、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

一般演題（口演）

■日時：12月5日（金） 15:40～16:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 13（社会・S）

検査相談・疫学

座長 本間隆之

貞升健志

（東京都健康安全研究センター 微生物部）

013-1 Microsoft Forms を利用した新宿東口 検査・相談室における HIV アンケート調査

貞升健志¹⁾、本間隆之²⁾、岩橋恒太³⁾、
小泉美優¹⁾、北村有里恵¹⁾、岩崎直哉¹⁾、
浅倉弘幸¹⁾、三宅啓文¹⁾、長島真美¹⁾、
千葉隆司¹⁾、瀧永博之⁴⁾、西塚 至⁵⁾、
吉村和久¹⁾、白阪琢磨⁶⁾、四本美保子⁷⁾

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 山梨県立大学
- 3) 特定非営利活動法人 akta
- 4) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) 東京都保健医療局
- 6) エイズ予防財団
- 7) 東京医科大学病院

013-2 結核患者における HIV 感染症の合併に関 する疫学動向及び検査について 2012 ～2023

河津里沙¹⁾、内村和広²⁾、金子典代¹⁾、
今橋真由美³⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科・看護学部
- 2) 公益財団法人結核予防会結核研究所
- 3) 国立病院機構 名古屋医療センター臨床研究センター

013-3 タイにおける HIV 感染者を含む結核患者 の類型化と死亡転帰との関連：欠損値を 考慮したクラスター分析

笠松亜由¹⁾、塘 由惟¹⁾、宮原麗子¹⁾、
山田紀男²⁾、野内英樹²⁾、
Supalert Nedsuwan³⁾、
Surakameth Mahasirimongkol⁴⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 2) 結核予防会
- 3) Chiangrai Prachanukroh Hospital, Ministry of Public Health, Thailand
- 4) Department of Traditional and Alternative Medicine, Ministry of Public Health, Thailand

013-4 演題取り下げ

■日時：12月5日（金） 16:30～17:30

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 14（社会・S）

ソーシャルワーク

座長 大里文誉

（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療セン
ター）

小嶋道子

（都立駒込病院 患者・地域サポートセンター 患者支援グルー
プ）

014-1 入院を機に生活課題が明らかになり地域 支援体制を再構築した一例

木梨貴博¹⁾、齊藤誠司¹⁾、福井洋介¹⁾、
坂田達朗¹⁾、片山智之¹⁾、山崎由佳¹⁾、
中村 葵¹⁾、山口沙帆¹⁾、五十川容子¹⁾、
野村直幸²⁾、河野泰宏¹⁾、安岡悠典¹⁾、
飯塚暁子¹⁾、藤原千尋¹⁾、今本 粋¹⁾

- 1) NHO 福山医療センター広島県東部地区エイズ医療セ
ンター
- 2) NHO 関門医療センター

014-2 HIV 感染透析患者の施設入所における課 題と支援

高橋昌也、鈴木ひとみ、池田和子、杉野祐子、
谷口 紅、大杉福子、野崎宏枝、佐々木愛美、
大金美和、照屋勝治、瀧永博之

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

014-3 HIV 感染症新規診断後の離職リスク： JMDC レセプトデータベースを用いた 後ろ向きコホート研究

有里勇輝^{1,2)}、池内和彦¹⁾、齋藤 真³⁾、
松本慎也¹⁾、岸田季之¹⁾、門 輝⁴⁾、
奥新和也⁵⁾、四柳 宏⁶⁾、堤 武也^{1,5)}

- 1) 東京大学医学部附属病院 感染症内科
- 2) がん・感染症センター 都立駒込病院
- 3) Centre for Tropical Medicine and Global Health, Nuffield Department of Medicine, University of Oxford
- 4) 東京大学 保健・健康推進本部
- 5) 東京大学医学部附属病院 感染制御部
- 6) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

一般演題（口演）

014-4 女性および外国籍 HIV 陽性者の支援の困難さと課題克服に向けた、ブロック拠点病院等ソーシャルワーカーの試み

重信英子¹⁾、山口みなみ²⁾、北村未季²⁾、
工藤晃聖³⁾、三鍋佑馬⁴⁾、四戸 良⁴⁾、
佐藤華絵⁵⁾、青野加奈子⁶⁾、中村翔太⁶⁾、
横尾ゆかり⁷⁾、曾我早織⁸⁾、森 晶啓⁹⁾、
中津千恵子¹⁰⁾、浦島藍子¹⁾、大里文誉¹¹⁾、
田村賢二¹¹⁾、三嶋一輝¹²⁾、首藤美奈子¹¹⁾、
岡本 学¹³⁾、高橋昌也¹⁴⁾

- 1) 広島大学病院
- 2) 北海道大学病院
- 3) 札幌医科大学附属病院
- 4) 旭川医科大学病院
- 5) 仙台医療センター
- 6) 石川県立中央病院
- 7) 新潟大学医歯学総合病院
- 8) 新潟県立新発田病院
- 9) 県立広島病院
- 10) 広島市立広島市民病院
- 11) 九州医療センター
- 12) 福井大学医学部附属病院
- 13) 大阪医療センター
- 14) 国立健康危機管理研究機構

014-5 愛媛県における医療機関・福祉施設への出張講義の有用性

池田 聖¹⁾、若松 綾²⁾、乗松真大³⁾、
中尾 綾⁴⁾、宮崎雅美²⁾、中川進平³⁾、
末盛浩一郎⁴⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科

014-6 アンケート調査より垣間見る HIV 陽性者と介護福祉施設の疾患意識のギャップ

藤井輝久¹⁾、中十奈苗²⁾、山崎尚也²⁾、
浦島藍子^{3,7)}、重信英子³⁾、後藤志保^{3,4)}、
坂本涼子^{3,4)}、杉本悠貴恵³⁾、黄 寛美^{3,7)}、
喜花伸子³⁾、片平尚貴⁵⁾、児玉博臣⁵⁾、
金本大地⁵⁾、田坂陵雅⁵⁾、山内映里^{5,6)}

- 1) 広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島県健康福祉局健康危機管理課
- 6) 広島県教育委員会管理部健康福利課
- 7) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

■日時：12月5日（金） 16:30～17:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 15（基礎・B） COVID-19（基礎）

座長 立川 愛

（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 エイズ研究センター）

豊田真子

（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

015-1 Characteristics of SARS-CoV-2-specific TCRs associated with asymptomatic and mild COVID-19 cases

金 炎^{1,2)}、Demetra S. M. Chatzileontiadou^{3,4,7)}、
有津由樹^{1,2)}、李カンウ^{1,2)}、北松瑞生⁵⁾、
岸 裕幸⁶⁾、上野 貴将²⁾、
Stephanie Gras^{3,4,7)}、本園 千尋²⁾

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫分野
- 3) ラ・トロブ大学分子科学研究所（LIMS）免疫感染プログラム
- 4) ラ・トロブ大学 農学・生物医学・環境学部 生化学・化学科
- 5) 近畿大学理工学部応用化学科
- 6) 富山大学学術研究部医学系免疫学講座
- 7) モナシュ大学 生化学・分子生物学科

015-2 優れた抗ウイルス活性を有する HLA-C 拘束性 SARS-CoV-2 N 特異的 CD8 陽性 T 細胞の分子認識基盤

後藤由比古^{1,2,3)}、You Min Ahn⁴⁾、
豊田真子¹⁾、浜名 洋⁵⁾、Yan Jin^{1,3)}、
田嶋祐香^{1,2,3)}、仲摩 健^{1,3)}、Huanyu Li^{1,3)}、
有津由樹^{1,3)}、北松瑞生⁶⁾、岸 裕幸⁵⁾、
富田雄介²⁾、坂上拓郎²⁾、上野貴将¹⁾、
Stephanie Gras⁴⁾、本園千尋¹⁾

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 2) 熊本大学大学院 生命科学研究部呼吸器内科学講座
- 3) 熊本大学 医学教育部
- 4) La Trobe University, Immunity and Infection program, Australia
- 5) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 6) 近畿大学 理工学部 応用化学科

一般演題（口演）

015-3 P-B03-1 SARS-CoV-2 spike L452R変異の側鎖反転によるHLA-A*24:02拘束性T細胞認識回避機構の解明

仲摩 健^{1,2)}、Aaron Wall³⁾、浜名 洋⁴⁾、有津由樹^{1,2)}、Toong Tan²⁾、豊田真子²⁾、後藤由比古²⁾、Huanyu Li^{1,2)}、北松瑞生⁵⁾、宇高恵子⁶⁾、Pierre Rizkallah³⁾、岸 裕幸⁴⁾、上野貴将²⁾、Andrew Sewell^{2,3)}、本園千尋²⁾

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 3) カーディフ大学医学部 感染免疫学
- 4) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 5) 近畿大学 理工学部 応用化学科
- 6) 高知大学 免疫学教室

015-4 SARS-CoV-2 長期持続感染 HIV 患者におけるSARS-CoV-2のウイルス学的解析

戸山 凪¹⁾、土屋亮人¹⁾、川島 亮^{1,2)}、黒木絢士郎³⁾、長島真美³⁾、中本貴人^{1,2)}、小泉吉輝¹⁾、青木孝弘¹⁾、水島大輔^{1,2)}、貞升健志³⁾、照屋勝治¹⁾、吉村和久³⁾、瀧永博之^{1,2)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京都健康安全研究センター

015-5 P-B02-7 Analysis of retroelement-derived RNA transcription in the lungs of SARS-CoV-2 infected mice

Thorbjorg Einarsdottir¹⁾、Rise Kurokawa¹⁾、Chatherine Silas Mtali¹⁾、Innocent John Daniel¹⁾、Omnia Reda²⁾、Yorifumi Satou²⁾、Masahiro Ono^{3,4)}、Takushi Nomura^{1,5)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 4) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

■日時：12月5日（金） 16:30～17:20

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演 16（臨床・C）

PEP・PrEP・STI・STD 2

座長 仲村秀太

（琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

塩尻大輔

（医療法人社団マキマ会パーソナルヘルスクリニック）

016-1 血清抗体価に基づくMSMにおける未診断エムボックスの実態と集団免疫獲得の可能性

中本貴人^{1,2)}、水島大輔¹⁾、林田庸総¹⁾、高野 操¹⁾、土屋亮人¹⁾、瀧永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学大学院医学教育部博士課程

016-2 関西におけるPrEP利用者の2年間における実態と予防薬による性行動の変容

石内崇勝^{1,2)}、水島大輔^{2,3)}、傳寶優希¹⁾、三上 蓮¹⁾、吉田菜乃¹⁾、坂元奈桜¹⁾、清水健伍¹⁾、吉田昂汰^{1,2)}

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

016-3 女性を対象とした性病検査イベントにおける検査実施状況と予防薬利用の実態

坂元奈桜¹⁾、石内崇勝^{1,2)}、傳寶優希¹⁾、三上 蓮¹⁾、吉田菜乃¹⁾、清水健伍¹⁾、吉田昂汰^{1,2)}、水島大輔^{2,3)}

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

016-4 HIV感染高リスク集団におけるPrEP普及率拡大と検査体制強化の長期効果：エージェントベースシミュレーション

谷口俊文¹⁾、野田龍也^{2,3)}、今橋真弓⁴⁾、尾又一実^{5,6)}

- 1) 千葉大学医学部附属病院
- 2) 奈良県立医科大学
- 3) 関西医科大学
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター
- 5) 慶應大学
- 6) 国立健康危機管理研究機構

一般演題（口演）

016-5 岩手医科大学附属病院における HIV 針刺し・粘膜曝露への対応に関する後方視的検討

小宅達郎¹⁾、西谷真来¹⁾、多田 恵²⁾、
工藤正樹³⁾、岡野良昭¹⁾、上原さつき¹⁾、
古和田周吾¹⁾、伊藤薫樹¹⁾

- 1) 岩手医科大学 血液腫瘍内科
- 2) 岩手医科大学附属病院 看護部
- 3) 岩手医科大学附属病院 薬剤部

■日時：12月5日（金） 17:30～18:10

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 17（基礎・B）

病原種・病態

座長 齊藤 暁

（宮崎大学 農学部 獣医学領域）

菅田謙治

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

017-1 HIV 感染者における修飾ヌクレオシドプロファイルの解析

豊田真子¹⁾、永芳 友²⁾、山村遼介²⁾、
中條岳志²⁾、藤本奈穂子¹⁾、Kinuma Ndaki¹⁾、
金子 瞳²⁾、西口栞世²⁾、
Godfrey Barabona³⁾、
Doreen Kamori³⁾、富澤一仁²⁾、上野貴将¹⁾

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 2) 熊本大学大学院 生命科学研究部分子生理学講座
- 3) Department of Microbiology and Immunology, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Dar es Salaam, Tanzania

017-2 HIV-1 gp140 による腸管上皮バリア障害に対する活性型ビタミンDの保護作用：in vitro モデルでの検討

矢崎有希、福本 敦、木村佳貴、吉野友祐

帝京大学医学部微生物学講座

017-3 Divergent Gut Phage Ecology and Immune Signatures in Virologically Suppressed PWH

Lucky Ronald Runtuwene¹⁾、
木口悠也²⁾、石坂 彩³⁾、古賀道子⁴⁾、
山本浩之¹⁾、四柳 宏^{3,5)}、水谷壮利¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) Department of Medicine, Stanford University, CA, USA
- 3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
- 5) 国立健康危機管理研究機構

017-4 Entamoeba histolytica の定量 PCR 診断の最適化のための Droplet digital PCR を用いた新規戦略

川島 亮^{1,2,3)}、柳川泰朗^{1,2)}、近田貴敬^{1,3)}、
下河原理江子²⁾、水島大輔^{1,3)}、土屋亮人¹⁾、
八木田健司²⁾、潟永博之^{1,3)}、渡辺 恒二^{2,4)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ・治療研究開発センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生虫部
- 3) 熊本大学大学院 医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 4) 東海大学 生体防御学講座

■日時：12月6日（土） 8:30～9:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 18（臨床・C）

抗 HIV 療法 2

座長 安達英輔

（東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科）

仲村秀太

（琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

018-1 HIV-1 感染症患者における抗 HIV 薬カボテグラビル（ボカブリア錠、ボカブリア水懸筋注）の安全性および有効性解析：日本における製造販売後調査の中間報告

吉川洋一郎¹⁾、長生多佳子²⁾、松川朋子¹⁾、
前野優子¹⁾、瀬端阿希美¹⁾、鈴木美和子¹⁾、
伊部史朗³⁾、福田明子²⁾、王 棟³⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社 安全性管理部
- 2) ヴィーブヘルスケア株式会社 製造販売総括・安全管理
- 3) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフケアーズ部門

一般演題（口演）

018-2 京都大学医学部附属病院における持続性注射製剤導入の現状について

尾崎淳子¹⁾、白川康太郎²⁾、松村勝之¹⁾、川戸敦子³⁾、松井宏行²⁾、高折晃史²⁾

- 1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 京都大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 京都大学医学部附属病院 看護部

018-3 日本におけるカボテグラビル+リルピビルンのリアルワールド評価：有効性・安全性およびバイオマーカー動態に関する多施設共同研究

安達英輔^{1,11)}、南 留美^{2,11)}、白野倫徳^{3,11)}、仲村秀太^{4,11)}、福島一彰^{5,11)}、今橋真弓^{6,11)}、関谷綾子^{5,7,11)}、村松 崇^{7,11)}、平井由児^{8,11)}、吉野友祐^{9,11)}、谷口俊文¹⁰⁾、J-HIV RWD Collaborative Database Team¹¹⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター AIDS・HIV 総合治療センター・免疫感染症内科
- 3) 大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター 感染症内科
- 4) 琉球大学 大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 5) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 6) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 7) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
- 8) 東京医科大学八王子医療センター 感染症科・感染制御部
- 9) 帝京大学 医学部微生物学講座
- 10) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科
- 11) J-HIV RWD Collaborative Database Team

018-4 2か月に1回のcabotegravir + rilpivirine 療法中に血漿ウイルス量が>100 copies/mlのBlipsを認めた症例の特徴

笠松 悠^{1,2)}、森田 諒²⁾、麻岡大裕²⁾、飯田 康²⁾、後藤哲志^{1,2)}、白野倫徳²⁾

- 1) 大阪市立十三市民病院 感染症内科
- 2) 大阪市立総合医療センター 感染症内科

018-5 Profile of Inflammatory markers in People living with HIV on combined Antiretroviral therapy in Tanzania

Kinuma Ndaki¹⁾、Godfrey Barabona^{2,3)}、Doreen Kamori^{2,3)}、Lilian Nkinda³⁾、Mussa Bago^{1,2)}、Nahoko Fujimoto²⁾、Mako Toyoda^{2,3)}、Takamasa Ueno^{1,2,3)}

- 1) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 2) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection Kumamoto University
- 3) Department of Microbiology and Immunology, Campus College of Medicine, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

■日時：12月6日（土） 8:30～9:20

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演19（臨床・C）

高齢化・健康寿命・生活習慣病合併症

座長 川島 亮

（国際健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ・治療研究開発センター）

上村 悠

（国際健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

019-1 中高年 People Living with HIV(PLWH) における運動習慣の重要性

南 留美¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、今井絵利華¹⁾、小松真梨子²⁾、犬丸真司²⁾、長与由紀子²⁾、城崎真弓²⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

019-2 当院におけるART内服中PLWH症例の死因についての検討

一木昭人、大崎俊樹、金子 竣、宮下竜伊、近澤悠志、備後真登、村松 崇、四本美保子、天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

一般演題（口演）

019-3 インテグラーゼ阻害剤の世代別にみた 6 年間の併用薬の変化についての検討

中内崇夫¹⁾、矢倉裕輝^{1,2)}、岸田啓太郎¹⁾、
祝洸太郎¹⁾、小西啓司³⁾、廣田和之³⁾、
上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、
河合 実¹⁾、白阪琢磨³⁾、渡邊 大^{2,3)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
- 2) 同 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
- 3) 同 感染症内科

019-4 HIV 感染者の人生の最終段階に望む医療や生活についての認識および話し合いの程度に関する実態調査

八鍬類子^{1,2)}、堀田宗一郎³⁾、川上明希¹⁾、
田中真琴¹⁾

- 1) 東京科学大学保健衛生学研究科
- 2) 東京医療保健大学千葉看護学部
- 3) 東京医科大学医学部看護学科

019-5 HIV 感染者のワクチン接種状況に関する多施設アンケート研究（Preliminary Report）

金澤晶雄¹⁾、安達英輔²⁾、今橋真弓³⁾、
遠藤知之⁴⁾、南 留美⁵⁾、福岡里紗⁶⁾、
久保田早苗⁷⁾、福島真一¹⁾、鈴木 麻衣¹⁾、
池田麻穂子¹⁾、森 博威¹⁾、横川博英¹⁾、
内藤俊夫¹⁾

- 1) 順天堂大学医学部 総合診療科学講座
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 3) 名古屋医療センター臨床研究センター
- 4) 北海道大学病院 感染制御部
- 5) 九州医療センター AIDS/HIV 総合医療センター
- 6) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 7) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部

■日時：12月6日（土） 8:30～9:30

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 20（基礎・B） 免疫・ワクチン

座長 本園千尋

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

野村拓志

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

020-1 SARS-CoV-2 mRNA ワクチン誘導型抗原 P-B03-4 特異的 T 細胞応答の経時的解析

堀美寿季^{1,2)}、仲摩 健^{1,2)}、Toong Tan²⁾、
富田和奏³⁾、後藤由比古²⁾、田嶋祐香^{1,2)}、
本園千尋²⁾、白川康太郎⁴⁾、高折晃史⁴⁾、
上野貴将²⁾、佐藤 佳⁵⁾

- 1) 熊本大学医学教育部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 3) 熊本大学医学部医学科
- 4) 京都大学大学院医学研究科血液内科学
- 5) 東京大学医科学研究所システムウイルス学分野

020-2 HIV 感染者における SARS-CoV-2 に対す P-B03-5 る細胞性免疫応答の解析

立川（川名）愛^{1,2,3)}、細谷（中山）香¹⁾、
Alitzel Anzurez¹⁾、古賀道子^{4,5)}、
四柳 宏^{6,7)}、吉村幸浩⁸⁾、立川夏夫⁹⁾、
山本浩之^{1,2)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当
- 4) 東京大学新世代感染症センター感染症研究分野
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 東京大学医科学研究所
- 8) 横浜市立市民病院感染症内科
- 9) 名寄東病院

020-3 HIV-1 感染症治療を目的とした新規 RNA ワクチンの開発

野木森拓人¹⁾、Hoang Oanh Nguyen²⁾、
升田雄士¹⁾、長束佑太¹⁾、福島大騎^{1,3)}、
西山紋恵¹⁾、Appay Victor²⁾、山本拓也^{1,3,4)}

- 1) 医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究センター プレシジョン免疫プロジェクト
- 2) CNRS UMR 5164, INSERM ERL 1303, ImmunoConcEpT, University of Bordeaux, Bordeaux, France
- 3) 大阪大学大学院薬学研究科 免疫老化制御学分野
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科 免疫・感染制御学講座

一般演題（口演）

020-4 Extracellular Vesicle-associated miRNAs Reveal Immune Recovery Subgroups in HIV-Treated Individuals

Mussa Hassan Bago^{1,2,3)}、
Godfrey Barabona^{1,4)}、
Doreen Kamori^{1,4)}、Lilian Nkinda^{1,4)}、
Kinuma Ndaki^{1,2)}、Mako Toyoda¹⁾、
Takamasa Ueno^{1,2,4)}

- 1) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Department of Public Health and Community Nursing, The University of Dodoma, Dodoma, Tanzania
- 4) Department of Microbiology and Immunology, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Dar es Salaam, Tanzania

020-5 非天然アミノ酸を導入した人工改変ペプチドによる新規 T 細胞誘導型ワクチンの開発に向けた基礎研究

有津由樹^{1,7)}、黒瀬愛実莉²⁾、浜名 洋³⁾、
仲摩 健^{1,7)}、山田杏子⁷⁾、宜野座路寛⁸⁾、
伊丹すず⁴⁾、Huanyu Li^{1,7)}、宇高恵子⁵⁾、
岸 裕幸³⁾、上野貴将⁷⁾、川下理日人⁶⁾、
北松瑞生²⁾、本園千尋⁷⁾

- 1) 熊本大学大学院医学教育部医学専攻
- 2) 近畿大学理工学部応用化学科
- 3) 富山大学学術研究部医学系免疫学
- 4) 近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻
- 5) 高知大学免疫学教室
- 6) 近畿大学理工学部エネルギー物質学科
- 7) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 8) 熊本大学医学部医学科

020-6 ADAM17 阻害は、B 型肝炎ウイルス特異的 NK 細胞抗体依存的細胞傷害を回復させる

菅原 将¹⁾、Stephanie Jost¹⁾、
R. Keith Reeves^{1,2)}

- 1) デューク大学外科学部
- 2) Center for Virology and Vaccine Research, Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School

■日時：12月6日（土） 9:20～10:10

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 21（臨床・C）

抗 HIV 療法 3

座長 椎木創一

（沖縄中部病院 感染症内科）

増田純一

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部）

021-1 HIV 陽性者における糖尿病の 12 年間の動向：リアルワールドコホート解析

関谷綾子^{1,2)}、鶴飼康平¹⁾、相澤陽太¹⁾、
西川ゆかり¹⁾、鄭 瑞雄¹⁾、福島一彰¹⁾、
田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、
今村顕史¹⁾

- 1) がん感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) 東京医科大学臨床検査医学分野

021-2 非拠点病院の総合診療内科における HIV 診療の現状

白井絢子¹⁾、西田裕介¹⁾、岩田啓太郎¹⁾、
河合夏美¹⁾、長谷川哲平¹⁾、佐藤央基¹⁾、
川村繭子²⁾、川村隆之²⁾、岡 秀昭¹⁾、
塚田訓久²⁾

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科
- 2) 埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科

021-3 Pre-ART 時代に治療を開始した PWH は、現在どのような ART を受けているか

奥野修平、菅野芳明、古賀道子、四柳 宏、
安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

021-4 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査（2025 年）

澤田暁宏¹⁾、関根祐介²⁾、増田純一³⁾、
小島賢一⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学 呼吸器・血液内科
- 2) 東京医科大学病院 薬剤部
- 3) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 4) 荻窪病院 血液凝固科

一般演題（口演）

021-5 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査（2025 年）

関根祐介¹⁾、澤田暁宏²⁾、増田純一³⁾、小島賢一⁴⁾

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) 兵庫医科大学 呼吸器・血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 4) 荻窪病院 血液凝固科

■日時：12月6日（土） 9:20～10:10

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 22（臨床・C）
症例報告・臨床疫学

座長 中嶋恵理子

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

松本佑慈

（九州大学病院 総合診療科）

022-1 播種性非結核性抗酸菌症に対して集学的治療を行うことで救命し得た HIV 感染症の一例

安藤彬乃、和田達彦、京田俊介、池田慶介、長谷川靖浩、田中知樹、松枝 佑、山岡邦宏

北里大学医学部リウマチ膠原病内科学

022-2 ART 導入後に増悪した HIV cholangiopathy を伴うクリプトスポリジウム症の一例

中川翔太、柳川泰昭、桑田 亮、川島 亮、井上恵理、安藤尚克、上村 悠、中本貴人、水島大輔、青木孝弘、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

022-3 HIV 関連びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対し Pola-R-CHP 療法を施行した一例

生駒良和^{1,2,3)}、石原正志^{3,4)}、手塚宣行⁵⁾、杉山仁美^{3,6)}、山口公大⁷⁾、鶴見 寿^{1,3,8)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター
- 4) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座
- 6) " 岐阜大学医学部附属病院 看護部 "
- 7) 岐阜市民病院 血液内科
- 8) 松波総合病院 血液・腫瘍内科

022-4 HIV 関連形質芽球性リンパ腫長期寛解中に発症した組織球肉腫

中嶋恵理子¹⁾、今井絵利華¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、桃崎征也³⁾、南 留美¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 3) 国立病院機構九州医療センター病理診断部

022-5 横浜国立市市民病院を受診した HIV 陽性者の COVID-19 流行前後での診断状況の検討

宗 佑奈、佐久川佳怜、松原龍輔、伊東裕史、宮田順之、吉村幸浩

横浜国立市市民病院 感染症内科

■日時：12月6日（土） 9:30～10:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 23（臨床・C）
抗 HIV 療法 4

座長 山口泰弘

（国立病院機構 九州医療センター 薬剤部）

南 留美

（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

023-1 テノホビルジソプロキシルフマル酸塩（TDF）の累積曝露および中止後の持続的腎機能低下に対する非線形混合効果モデルによる評価

山口泰弘、平田亮介、筒井結子、小泉陽奈子、藤田清香、藤瀬陽子、大橋邦央、橋本雅司

国立病院機構 九州医療センター 薬剤部

023-2 非 INSTI レジメンから INSTI レジメンへの変更後の影響：山梨県立中央病院における後ろ向き検討

遠藤愛樹、石部大紀、金 永進、松本香織

山梨県立中央病院薬剤部

一般演題（口演）

023-3 Twelve-month (12M) effectiveness and safety of B/F/TAF in treatment-experienced people with HIV: a pooled analysis from observational cohort studies across Asia

Rumi Minami¹⁾、Lijun Sun²⁾、Yu-Ting Tseng³⁾、Lin Cai⁴⁾、Ping Ma⁵⁾、Katsuji Teruya⁶⁾、Nao Taguchi⁷⁾、Travis Lim⁸⁾、Paul McDwyer⁹⁾、Julie Ryu⁸⁾、Weiping Cai¹⁰⁾

- 1) National Hospital Organization Kyushu Medical Center, Fukuoka, Japan
- 2) Beijing Youan Hospital, Capital Medical University, Beijing, China
- 3) Kaohsiung Veterans General Hospital, Kaohsiung, Taiwan
- 4) Public Health Clinical Center of Chengdu, Chengdu, China
- 5) Tianjin Second People's Hospital, Tianjin, China
- 6) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan
- 7) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan
- 8) Gilead Sciences, Foster City, CA, USA
- 9) Gilead Sciences, Dublin, Ireland
- 10) Guangzhou Medical University, Guangzhou Eighth People's Hospital, Guangzhou, China

023-4 横浜市民病院におけるドラビリン・テノホビルアラフェナミド・エムトリシタビンとドルテグラビル・ラミブジンによる維持療法の比較

吉村幸浩、佐久川佳怜、松原龍輔、伊東裕史、宗 佑奈、宮田順之

横浜市民病院感染症内科

023-5 HIV 感染症患者における抗 HIV 薬ドルテグラビル製剤（テビケイ錠、トリーメク配合錠）の安全性及び有効性解析：日本における製造販売後調査 10 年間の最終報告

前野優子¹⁾、長生多佳子²⁾、瀬端阿希美¹⁾、松川朋子¹⁾、吉川洋一郎¹⁾、鈴木美和子¹⁾、伊部史朗³⁾、福田明子²⁾、王 棟³⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社 安全性管理部
- 2) ヴィーブヘルスケア株式会社 製造販売総括・安全管理
- 3) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカルアフェアーズ部門

■日時：12月6日（土） 14:40～15:30

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 24（臨床・C）

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス 1

座長 田上直美

（熊本大学病院 薬剤部）

日笠真一

（兵庫医科大学病院 薬剤部）

024-1 HIV 感染症「専門医療機関連携薬局認定取得に向けた現状と課題に関する調査」

増田純一¹⁾、矢倉裕輝²⁾、田澤佑基³⁾、國本雄介⁴⁾、井上正朝⁵⁾、佐藤 萌⁶⁾、三枝祐美⁷⁾、安井淳子⁸⁾、石井 良⁹⁾、松木克仁¹⁰⁾、安田明子¹¹⁾、石井聡一郎¹²⁾、白濱 航¹³⁾、洲山佳寛¹⁴⁾、山口泰弘¹⁵⁾、西村富啓¹⁾

- 1) 国立国際医療センター
- 2) 国立病院機構大阪医療センター
- 3) 北海道大学病院
- 4) 札幌医科大学附属病院
- 5) 旭川医科大学病院
- 6) 国立病院機構仙台医療センター
- 7) 新潟大学医学部総合病院
- 8) 新潟市民病院
- 9) 新潟県立新発田病院
- 10) 国立病院機構名古屋医療センター
- 11) 石川県立中央病院
- 12) 広島大学病院
- 13) 県立広島病院
- 14) 広島市立広島市民病院
- 15) 国立病院機構九州医療センター

024-2 保険薬局従業員の HIV 感染症・エイズに関する認識の実態 ～研修動画の効果～

海老昌子¹⁾、白井莉和子¹⁾、野口梨紗¹⁾、澤田智世¹⁾、富澤星華¹⁾、伊藤智代²⁾、阿部真也²⁾、五十嵐建佑²⁾、佐々木愛³⁾、松井 洸³⁾、山口 浩³⁾、野村和彦³⁾

- 1) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 2) 株式会社ツルハ
- 3) 株式会社ツルハホールディングス

024-3 近年頻用されている抗 HIV 薬の簡易懸濁法の適否に関わる検討

久利 歩、矢倉裕輝、渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部

一般演題（口演）

024-4 拳児希望のある HIV 感染症患者に対する 薬剤師の関わり

梅本憂衣、山口泰弘、平田亮介、筒井結子、
藤田清香、小泉陽奈子、藤瀬陽子、大橋邦央、
橋本雅司

国立病院機構 九州医療センター

024-5 HIV 陽性妊婦に関して多職種・他院との 協力体制の構築について検討した1例～妊 娠、出産、児への AZT 投与の薬剤支援～

村多杏美¹⁾、山口英美¹⁾、佐藤 萌¹⁾、
鈴木佳奈子²⁾、佐々木晃子²⁾、三浦麻衣³⁾、
今村淳治³⁾、伊藤俊広³⁾

1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部

2) 国立病院機構仙台医療センター看護部

3) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科

025-4 HIV 陽性者「全国ピアサポート円卓会 議」と各地域コミュニティセンターとの 協働—全国のコミュニティが語る日本の HIV/ エイズ 課題と希望の視点—

大島 岳^{1,2)}、加藤力也¹⁾、福正大輔¹⁾、
牧原信也¹⁾、生島 嗣¹⁾

1) 特定非営利活動法人ふれいす東京

2) 明治大学 情報コミュニケーション学部

025-5 わが国の HIV 感染抑制と陽性者支援のため のプロジェクト< ZERO transmission in Japan by 2030 >について

白阪琢磨^{1,2)}、池袋 真³⁾、岩橋恒太⁴⁾、
西浦 博⁵⁾、四本美保子⁶⁾、田中英之⁷⁾

1) 公益財団法人エイズ予防財団

2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/
AIDS 先端医療開発センター

3) 医療法人社団マキマ会 パーソナルヘルスクリニック
横浜院

4) 特定非営利活動法人 akta

5) 京都大学大学院医学研究科

6) 東京医科大学臨床検査医学科

7) 公益財団法人エイズ予防財団大阪事務所

■日時：12月6日（土） 14:40～15:30

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 25（社会・S）

啓発・コミュニティ

座長 柏崎正雄

（公益財団法人エイズ予防財団）

船石翔馬

（福岡コミュニティセンター HACO）

025-1 HIV/AIDS 予防啓発手法としてのドキュ メンタリー映画の可能性

福正大輔¹⁾、保坂嘉成^{1,2)}

1) 認定特定非営利活動法人ふれいす東京

2) 西武文理大学看護学部

025-2 若年層への効果的な啓発方法に関する分析

宇野伽那子、古川香奈江、松田貴根、
大野利佐子、津田侑子、康 史朗、岡田めぐみ、
森 裕、廣川秀徹

大阪市保健所感染症対策課

025-3 包摂と尊厳を掲げて歩く— #UpdateHIV フロートで確認された HIV コミュニティのカー

福正大輔¹⁾、生島 嗣¹⁾、岩橋恒太²⁾、
武永麻衣子³⁾、小林直美³⁾、石川貴枝子³⁾、
笹井明日香⁴⁾、岡本紀子⁴⁾

1) 認定特定非営利活動法人ふれいす東京

2) 特定非営利活動法人 akta

3) ギリアド・サイエンシズ株式会社

4) ヴィーブヘルスケア株式会社

一般演題（口演）

■日時：12月6日（土） 15:40～16:30

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 26（臨床・C）

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス 2

座長 平野 淳

（国立病院機構東名古屋病院 薬剤部）

草場健司

（福岡市薬剤師会薬局 百道店）

026-1 Positive Perspectives 3 研究 (PP3) において患者と医療従事者の共同意思決定は HIV 陽性者の生活の質、治療アドヒアランス、治療満足度の向上に関連

Rickesh Patel¹⁾、
Brent Allan²⁾、Garry Brough³⁾、
Mario Cascio⁴⁾、Erika Castellanos⁵⁾、
Antonella Cingolani⁶⁾、Vuyiseka Dubula⁷⁾、
W. David Hardy⁸⁾、岩橋恒太⁹⁾、
Sindy Mbundwini¹⁰⁾、Marta McBritton¹¹⁾、
Mary Ndung'u¹²⁾、Bruce Richman¹³⁾、
Mercy Shibemba¹⁴⁾、Ama Appiah¹⁾、
Dainielle Fox¹⁾、Mariel Mayer¹⁾、
Shaun Mellors¹⁾、Vilma Vega¹⁾、
Nneka Nwokolo¹⁾、笹井明日香¹⁵⁾

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

026-2

Positive Perspectives 3 研究 (PP3) において、治療満足度は、アドヒアランスおよび精神的・身体的・性的・全体的健康の改善と関連

Rickesh Patel¹⁾、
Brent Allan²⁾、Garry Brough³⁾、
Mario Cascio⁴⁾、Erika Castellanos⁵⁾、
Antonella Cingolani⁶⁾、
Vuyiseka Dubula⁷⁾、W. David Hardy⁸⁾、
岩橋恒太⁹⁾、Sindy Mbundwini¹⁰⁾、
Marta McBritton¹¹⁾、
Mary Ndung'u¹²⁾、Bruce Richman¹³⁾、
Mercy Shibemba¹⁴⁾、Ama Appiah¹⁾、
Dainielle Fox¹⁾、Mariel Mayer¹⁾、
Shaun Mellors¹⁾、Vilma Vega¹⁾、
Nneka Nwokolo¹⁾、笹井明日香¹⁵⁾

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

026-3

薬害 HIV 感染者のポリファーマシーに関する現状調査

福嶋千穂¹⁾、増田純一¹⁾、岩月優菜¹⁾、
沼田理子¹⁾、小林瑞季¹⁾、霧生彩子¹⁾、
関 将行¹⁾、長島浩二¹⁾、上村 悠²⁾、
潟永博之²⁾、西村富啓¹⁾

- 1) 国立国際医療センター 薬剤部
- 2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

一般演題（口演）

026-4 緩やかな自死として抗 HIV 療法を自己中断し死亡した高齢 HIV 患者の一例。

高嶋英樹¹⁾、今井三枝子²⁾、叶内 至³⁾、阿部公俊⁴⁾、中尾安秀¹⁾

- 1) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総診療科・感染症内科
- 2) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院看護部
- 3) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院薬剤部
- 4) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

026-5 DTG中断後にINSTI-RAM S147G単独出現を認めた一例とその臨床的意義

山川奈津子¹⁾、仲村秀太²⁾、上原 仁³⁾、大田久美子³⁾、宮城京子⁴⁾、前田サオリ⁴⁾、石郷岡美穂⁵⁾、前原一輝⁵⁾、上 薫⁵⁾、照屋美波⁶⁾、新里尚美⁷⁾、金城隆展⁸⁾、大城光花¹⁾、渡嘉敷良乃¹⁾、山内 恵¹⁾、今村美菜子^{1,9)}、菊地 正¹⁰⁾、山本和子²⁾

- 1) 琉球大学病院 検査・輸血部
- 2) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科
- 3) 琉球大学病院薬剤部
- 4) 琉球大学病院看護部
- 5) 琉球大学病院医療福祉センター
- 6) 琉球大学病院精神科神経科
- 7) 琉球大学病院第一内科
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部
- 9) 琉球大学大学院医学研究科 先進ゲノム検査医学講座
- 10) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

■日時：12月6日（土） 17:10～18:00

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 27（臨床・C）

看護・長期療養・チーム医療 1

座長 大金美和

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

前田サオリ

（琉球大学病院 看護部）

027-1 血友病性関節症をめぐる薬害被害者支援の院内連携～コーディネーターナースの視点から～

知久照真^{1,2)}、関 義信^{3,4)}、新保明日香⁵⁾、田村美喜⁵⁾、平岡 司⁶⁾、栗原豊明⁶⁾、柴田 怜¹⁾、高木 繁⁷⁾、望月友晴⁷⁾、茂呂 寛¹⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) 新潟大学医歯学総合病院 血液内科
- 4) 新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科
- 5) 新潟大学医歯学総合病院 看護部
- 6) 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科
- 7) 新潟大学医歯学総合病院 整形外科

027-2 HIV 感染血友病患者がアクセスしている健康情報等の内容と手段に関する実態調査（中間報告）

佐々木愛美、大金美和、野崎宏枝、大杉福子、鈴木ひとみ、谷口 紅、大友 健、木村聡太、宮本里香、高橋昌也、杉野祐子、池田和子、上村 悠、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

027-3 薬害 HIV 感染血友病患者の治療薬変更に伴う在宅療養支援

石井智美¹⁾、車 陽子¹⁾、浅田裕子¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院看護部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

027-4 HIV 陽性者の喫煙・禁煙に対する認識の調査

富田亜沙美、中濱智子、東 政美、米田奈津子、白阪琢磨、上平朝子、渡邊 大

大阪医療センター

027-5 カウンセリングを拒否するメンタルヘル스에問題を抱えた患者の抑うつ状態から脱却への関わり

今井三枝子、阿部公俊、高嶋英樹、叶内 至、中尾安秀

新松戸中央総合病院

■日時：12月6日（土） 17:10～18:10

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 28（社会・S）

郵送検査・検査体制

座長 船石翔馬

（福岡コミュニティセンター HACO）

高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

028-1 HIV 郵送検査に関する実態調査（2024）

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子¹⁾、今井光信³⁾、今村顕史⁴⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 株式会社ハナ・メディテック
- 2) 神奈川県衛生研究所 微生物部
- 3) 田園調布学園大学
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

一般演題（口演）

028-2 ゲイバーとハッテン場への HIV 郵送検査 キット設置における有効性と問題点 - 梅毒 同時検査での検討 -

高濱宗一郎¹⁾、今井絵利華¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、
南 留美¹⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、
城崎真弓²⁾

- 1) 国立病院機構 九州医療センター
2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

028-3 北陸・南九州のハイリスク層を対象とし た郵送検査による HIV 検査モデル構築と 効果分析に関する研究

鄭 瑞雄¹⁾、生島 嗣²⁾、岩橋恒太³⁾、
本間隆之⁴⁾、南 留美⁵⁾、彼谷裕康⁶⁾、
渡邊珠代⁷⁾、森永浩次⁸⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院
2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
3) 特定非営利活動法人 akta
4) 山梨県立大学
5) 国立病院機構九州医療センター
6) 富山県立中央病院
7) 石川県立中央病院
8) 福井県立病院

028-4 岡山県における「もんげー性病検査」10 年のあゆみ

和田秀穂¹⁾、福田寛文²⁾

- 1) 川崎医科大学総合臨床医学
2) 川崎医科大学血液内科学

028-5 在留外国人の郵送 HIV 検査に関する選好 に関する研究

北島 勉¹⁾、Chunyan Li²⁾、
沢田貴志³⁾、宮首弘子⁴⁾、Tran Thi Hue⁵⁾、
Supriya Shakya⁶⁾

- 1) 杏林大学総合政策学部
2) 東京大学東京カレッジ
3) 港町診療所
4) 杏林大学外国語学部
5) 神戸女子大学文学部
6) エイズ予防財団

028-6 当院で HIV 陽性が判明した 97 例から考 察する検査体制の課題と提言

谷口 恭

(医) 谷口医院

■日時：12月6日(土) 18:10～19:00

■会場：第5会場(3F 会議室 C1-2)

口演 29 (臨床・C)

看護・長期療養・チーム医療 2

座長 杉野祐子

(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治
療・研究開発センター)

長與由紀子

(国立病院機構九州医療センター 看護部 AIDS/HIV 総合治
療センター)

029-1 ACC 通院中の HIV 感染症高齢患者の居 住地と医科併存疾患の通院先について

鈴木ひとみ¹⁾、池田和子¹⁾、谷口 紅¹⁾、
杉野祐子¹⁾、大杉福子¹⁾、佐々木愛美¹⁾、
大金美和¹⁾、高橋昌也¹⁾、大友 健¹⁾、
木村聡太¹⁾、宮本里香^{1,2)}、照屋勝治¹⁾、
潟永博之¹⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団

029-2 高次脳機能障害を伴う HIV 関連進行性多 巣性白質脳症 (PML) を発症し、長期療 養施設へ入所出来た一例

菊地太郎^{1,2)}、増田真吾²⁾、遠藤恵里奈³⁾、
長浦由紀⁴⁾、小笹宗一郎⁴⁾、濱田航一郎⁴⁾、
赤羽目翔悟⁴⁾、杉本尊史²⁾、山内桃子²⁾、
泉田真生²⁾、山梨啓友⁴⁾、中村裕子⁵⁾、
寺坂陽子^{5,6)}、森本浩之輔²⁾、前田隆浩⁴⁾、
有吉紅也⁷⁾、泉川公一⁶⁾、古本朗嗣¹⁾

- 1) 長崎大学病院 総合感染症科・感染症医療人育成セン
ター
2) 長崎大学病院 総合感染症科・国際感染症予防診療セ
ンター
3) 長崎大学病院 地域医療連携センター
4) 長崎大学病院 総合診療科
5) 長崎大学病院 看護部
6) 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター
7) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症疫学・動態学分野

029-3 難民申請中外国籍 HIV 陽性者に対する多 職種支援・多科診療体制構築の重要性

福島一彰^{1,2)}、小嶋道子³⁾、小林あずさ⁴⁾、
西川ゆかり^{1,5)}、相澤陽太¹⁾、鄭 瑞雄¹⁾、
田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、関谷綾子¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤¹⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科
3) がん・感染症センター都立駒込病院 患者・地域サ
ポートセンター
4) がん・感染症センター都立駒込病院 看護部
5) 東京都保健医療局感染症対策部

一般演題（口演）

029-4 南海トラフ地震に備える：PLWH向け災害対策冊子の作成と配布

加嶋真恵¹⁾、川田通子¹⁾、大田佐代子¹⁾、
吉田陽子¹⁾、木村佐笑¹⁾、住吉健太²⁾、
小田優子³⁾、早川幸子⁴⁾、北岡陸男⁴⁾、
内田俊平⁵⁾、塩入ひろみ¹⁾

- 1) 香川大学医学部附属病院看護部
- 2) 香川大学医学部附属病院薬剤部
- 3) 香川大学医学部附属病院医療支援課
- 4) 香川大学医学部附属病院臨床栄養部
- 5) 香川大学医学部附属病院 HIV・AIDS 対策室

029-5 刑務所から地域へ HIV 関連機関ができること ～お手紙プロジェクトから見えてきたニーズと課題～

福正大輔、村崎美和、生島 嗣、渡辺ひかる

認定特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：12月6日（土） 18:30～19:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 30（社会・S）

薬物使用

座長 宮崎菜穂子

（東京 HIV 診療ネットワーク／川崎市保健所）

大島 岳

（明治大学 情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科）

030-1 薬物依存を有する HIV 陽性者の生きづらさに関する内容分析

保坂嘉成^{1,2)}、福正大輔²⁾、生島 嗣²⁾

- 1) 西武文理大学看護学部
- 2) 認定 NPO 法人 ぶれいす東京

030-2 薬物乱用防止教育における中学生の意識と学びの分析—自由記述に基づくテキストマイニング調査—

中野栄二^{1,2,3)}、伊藤美緒子^{1,4)}、鈴木智恵子^{1,5)}

- 1) 特定非営利活動法人 ASK（ASK 認定依存症予防教育アドバイザー）
- 2) 中央大学
- 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 4) アルコール関連問題を考える会だるま会
- 5) 北海道公立学校スクールカウンセラー

030-3 タブレットを用いた HIV 陽性者向け心理スクリーニング検査の妥当性検討

仲倉高広¹⁾、井上洋士²⁾、板垣貴志³⁾、
村井俊哉⁴⁾

- 1) 京都ノートルダム女子大学
- 2) 埼玉大学
- 3) 株式会社アクセライト
- 4) 京都大学

030-4 千葉大学における People living with HIV(PLWH) の薬物使用の実態と特徴：メタンフェタミン使用とその関連リスクに関する後ろ向き研究

吉川 寛、谷口俊文、矢幅美鈴、豊田陽子、
猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院

030-5 当院における薬物使用・薬物依存症者への取り組み

中尾 綾、山之内純

愛媛大学医学部附属病院 第一内科

■日時：12月6日（土） 19:10～20:00

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 31（臨床・C）

看護・長期療養・チーム医療 3

座長 高木雅敏

（熊本大学病院 看護部）

田中美佐子

（産業医科大学病院 看護部）

031-1 HIV 感染症担当看護師の活動や役割に関する看護支援体制の実態と看護管理者の認識調査

～HIV 感染症の看護支援体制に関するアンケート調査より～

大金美和¹⁾、杉野祐子¹⁾、照屋勝治¹⁾、
上村 悠¹⁾、後藤智己²⁾、柿沼章子²⁾、
岩野友里²⁾、花井十伍³⁾、潟永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

031-2 外来での療養支援の実態把握と HIV 患者が看護師に求める役割に関する検討～HIV 感染症の看護支援体制に関するアンケート調査より～

杉野祐子¹⁾、大金美和¹⁾、照屋勝治¹⁾、
上村 悠¹⁾、後藤智己²⁾、柿沼章子²⁾、
岩野友里²⁾、花井十伍³⁾、潟永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

一般演題（口演）

031-3 当院における HIV 診療チームの立ち上げと多職種連携による包括的運用：実践報告と今後の展望

梅村明日香¹⁾、天本 大暁¹⁾、綾部美幸²⁾、後藤綾乃²⁾、柴田 茜³⁾、江頭さおり⁴⁾、田中康大¹⁾、芦澤博貴¹⁾、岩本さゆみ⁵⁾、田中健之⁶⁾、尾長谷靖¹⁾、泉川公一⁶⁾、迎 寛^{7,8)}

- 1) 佐世保市総合医療センター 呼吸器内科
- 2) 佐世保市総合医療センター 地域連携センター
- 3) 佐世保市総合医療センター 総務
- 4) 佐世保市総合医療センター 薬剤部
- 5) 佐世保市総合医療センター 看護部
- 6) 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター
- 7) 長崎大学病院 第二内科（呼吸器内科）
- 8) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 呼吸器内科学

031-4 東北のエイズ診療拠点病院がない地域を対象とした医療、福祉従事者の HIV に対するイメージ、受け入れに関する意識調査—管理者、現場職員間での意識の違いに着目して—

佐藤華絵^{1,2,4)}、鈴木智子¹⁾、松本理沙³⁾、小倉美緒²⁾、今村淳治¹⁾

- 1) 仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター
- 2) 仙台医療センター地域医療連携室
- 3) 仙台医療センター医師事務補助
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

031-5 当院の「HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業・実地研修」への取り組み

坂部茂俊¹⁾、小池隆介²⁾、田中宏幸²⁾、豊嶋弘一²⁾、内田真季³⁾、村田 舞³⁾、森尾志保³⁾、中野絵梨⁴⁾、藤井典義⁴⁾、服部公紀⁵⁾

- 1) 伊勢赤十字病院 循環器内科
- 2) 伊勢赤十字病院 感染症内科
- 3) 伊勢赤十字病院 看護部
- 4) 伊勢赤十字病院 医療社会事業課
- 5) 伊勢赤十字病院 薬剤部

■日時：12月7日（日） 9:00～9:50

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 32（基礎・B） 抗 HIV 薬

座長 三隅将吾

（熊本大学 大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター）

青木 学

（熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科）

032-1 Tellimagrandin 1 はアボトーススを誘導することで HIV-1 複製を抑制する

門出和精¹⁾、Perpetual Nyame¹⁾、Wright Andrews Ofotsu Amesimeku¹⁾、刈谷龍昇²⁾、Berkay Beyri³⁾、Md. Jakir Hossain¹⁾、寺沢広美¹⁾、門出奈美¹⁾、立石 大³⁾、澤 智裕¹⁾、藤田美歌子³⁾、池田 剛⁴⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 2) 神戸学院大学薬学部
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座
- 4) 崇城大学 薬学部

032-2 抗 HIV-1 剤としての抗体薬物複合体

三浦裕太郎¹⁾、辻 耕平¹⁾、小早川拓也¹⁾、桑田岳夫²⁾、松本佳穂²⁾、伊東祐二³⁾、吉矢 拓⁴⁾、松下修三²⁾、玉村啓和¹⁾

- 1) 東京科学大学総合研究院生体材料工学研究所
- 2) 熊本大学レトロウイルス学研究センター
- 3) 鹿児島大学大学院理工学研究科
- 4) 株式会社ベプチド研究所

032-3 創薬を指向した HIV-1 Gag MA ドメインとカルジオリピンとの結合に関する研究

富田 聖¹⁾、福田智輝¹⁾、立石 大²⁾、知念拓磨²⁾、青木 学¹⁾、島垣和功²⁾、福田亮太²⁾、坂本亜里紗^{1,2)}、大塚雅巳^{2,3)}、藤田美歌子²⁾、安楽健作¹⁾

- 1) 熊本保健科学大学大学院保健科学研究科
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 3) サイエンスファーム株式会社

032-4 HIV-1 の dolutegravir 耐性発現メカニズムの解明

青木 学^{1,2,3)}、Debananda Das²⁾、満屋裕明^{2,3,4)}

- 1) 熊本保健科学大学
- 2) NCI/NIH
- 3) 国立国際医療研究所・難治性ウイルス感染症研究部
- 4) 熊大病院

一般演題（口演）

032-5 A dual-function AAV system with HiBiT and StayGold for quantification and imaging toward future HIV/AIDS gene therapy

Alhaji M. Jalloh^{1,2)}、孔 徳川^{1,2)}、
多田卓哉³⁾、Nathaniel R. Landau³⁾、
上野貴将²⁾、徳永研三^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所 感染病理部
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3) Department of Microbiology, NYU Grossman School of Medicine, New York

■日時：12月7日（日） 10:00～10:50

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 33（基礎・B）
分子疫学

座長 岩谷靖雅

（浜松医科大学 医学部 微生物学・免疫学講座）

椎野禎一郎

（国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター データサイエンス部）

033-1 Nanopore Sequencing を用いた HIV-1 ゲノム翻訳領域での Intactness 評価

大出裕高¹⁾、松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、
山村喜美¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

033-2 国内 HIV-1 伝播クラスター動向 (SPHNCS 分析) 年報－2024 年

椎野禎一郎^{1,7)}、今橋真弓²⁾、南 留美³⁾、
中村麻子⁴⁾、林田庸総⁵⁾、吉村和久⁶⁾、
杉浦 互¹⁾、菊地 正⁷⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター
2) 国立病院機構名古屋医療センター
3) 国立病院機構九州医療センター
4) 福岡県保健環境研究所 保健科学部ウイルス課
5) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
6) 東京都健康安全研究センター
7) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター

033-3 東海地方において検出された組換え型 HIV-1 遺伝系統の分子疫学的解析

松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
2) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

033-4 HIV 感染者におけるエピジェネティック年齢評価：日本人集団向け計算モデルの開発と国内応用への展望

塘 由惟^{1,2)}、笠松亜由¹⁾、鄭 瑞雄³⁾、
立川 愛¹⁾、仲木 竜⁴⁾

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
2) 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学
3) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
4) 株式会社 Rhelixa

033-5 コレセプター利用性の異なる HIV-1 による P-B02-2 混合感染の次世代シーケンスを用いた解析

前田洋助^{1,2)}、近田貴敬³⁾、阿部 遥⁵⁾、
寺沢広美²⁾、Giang Van Tran^{3,4)}、
澤 智裕²⁾、長谷部太⁵⁾、滝口雅文³⁾

- 1) 吉備国際大学
2) 熊本大学生命科学研究部微生物学講座
3) ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
5) 長崎大学熱帯医学研究所

■日時：12月7日（日） 10:20～11:10

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 34（臨床・C）
日和見感染・悪性腫瘍・肺炎 2

座長 村田昌之

（九州大学病院 総合診療科）

古賀道子

（東京大学 新世代感染症センター 医科学研究所附属病院）

034-1 HIV 陽性者における倍量 B 型肝炎ワクチン再接種とその効果

村松 崇、金子 竣、原田侑子、宮下竜伊、
上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、
関谷綾子、四本美保子、萩原 剛、天野景裕、
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

034-2 HIV 陽性者における C 型肝炎の新規感染

石川和宏^{1,2)}、村松 崇³⁾、金子 竣³⁾、
原田 侑子³⁾、宮下竜伊³⁾、一木 昭人³⁾、
近澤 悠志³⁾、備後 真登³⁾、関谷 綾子³⁾、
四本美保子³⁾、萩原 剛³⁾、天野 景裕³⁾、
木内 英³⁾

- 1) 江戸川病院
2) 東京医科大学茨城医療センター感染症科
3) 東京医科大学臨床検査医学科

034-3 血友病合併 HIV/HCV 重複感染に起因する肝硬変患者に対するホスセンビピントの安全性、有効性を検証する医師主導治験（第 II 相試験）

木村公則¹⁾、生駒明美¹⁾、岡本典代¹⁾、
遠藤知之²⁾、阪森亮太郎³⁾、四柳 宏⁴⁾、
瀧永博之⁵⁾

- 1) 東京都立駒込病院肝臓内科
2) 北海道大学病院・感染制御部
3) 国立大阪医療センター消化器内科
4) 東京大学医科学研究所附属病院先端医療研究センター
5) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

034-4 当院で抗ウイルス療法開始前に好中球減少症を発症していた HIV 感染症 / AIDS 症例に対する G-CSF 製剤の使用実績

金井 修

国立病院機構京都医療センター

034-5 HIV 陽性者における当院での大腸外科・整形外科手術症例の SSI(手術部位感染)の検討

相澤陽太、関谷綾子、鄭 瑞雄、田中 勝、
福島一彰、小林泰一郎、矢嶋敬史郎、味澤 篤、
今村顕史

がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科

■日時：12 月 7 日（日） 11:00～11:50

■会場：第 5 会場（3F 会議室 C1-2）

口演 35（基礎・B）
動物モデル

座長 石井 洋

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 潜在感染研究部）

浦野恵美子

（医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター）

035-1 SIV 中和抵抗性の克服に関連した第二の Nef 多型の特定

星野南月^{1,2)}、Anh Hong Quynh Pham^{1,3)}、
小島潮子¹⁾、西澤雅子¹⁾、芳田 剛¹⁾、
Trang Thi Thu Hau¹⁾、林 隆也¹⁾、
関紗由里¹⁾、山本浩之^{1,3,4,5)}

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 横浜市立大学大学院 医学研究科
3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) Department of Biomedicine, University Hospital Basel
5) 東京科学大学 NIID 統合微生物学

035-2 抗 HIV 中和抗体を用いた免疫療法は、CD8 + T 細胞を主体とした免疫応答でエイズウイルスを制御する

岡村 智崇^{1,2)}、桑田岳夫³⁾、八坂奈津美⁴⁾、
中嶋拓史⁴⁾、花木賢一¹⁾、松下修三³⁾、
保富康宏²⁾

- 1) 国立感染症研究所安全管理研究センター
2) 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター
3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) 株式会社 CURED

035-3 Establishment of conditional antigen expressing mouse models for analysis of immune responses against reactivated HIV reservoir

Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、
Innocent John Daniel¹⁾、
Yashushi Yabuki^{2,3)}、
Takushi Nomura⁴⁾

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) Department of Genomic Neurology, Institute of Molecular Embryology and Genetics (IMEG), Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 4) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security

■日時：12月7日（日） 11:20～12:00

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

口演 36（臨床・C）

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎 3

座長 青木孝弘

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

中本貴人

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

035-4 Analysis of antigen-specific T cell response in sub-acute phase using SARS-CoV-2 infected mouse model

黒川理世¹⁾、Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Innocent John Daniel¹⁾、
Thorbjorg Einarsdottir¹⁾、
Cassian Germanus Mwinuka¹⁾、
坂本 歩¹⁾、Fazilova Fidan¹⁾、佐藤賢文²⁾、
小野昌弘^{3,4)}、野村拓志^{1,5)}

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターウイルス病態学分野
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 3) インペリアル・カレッジ・ロンドン理学部生物学科
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター先進感染症研究教育ユニット
- 5) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター

035-5 Evaluation of immune cell migration dynamics associated with disease severity in SARS-CoV-2 infected mice

Innocent John Daniel¹⁾、
Thorbjorg Einarsdottir¹⁾、
Rise Kurokawa¹⁾、
Chatherine Silas Mtali¹⁾、
Cassian Mwinuka Germanus¹⁾、
Takushi Nomura^{1,2)}

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

036-1 薬害 HIV 感染被害者に対するがん検診受検希望についてのアンケート調査

福田あかり¹⁾、古賀道子^{1,2)}、田中貴大¹⁾、
保坂 隆^{1,3)}、石坂 彩¹⁾、野島正寛¹⁾、
柿沼章子⁴⁾、後藤智巳⁴⁾、藤谷順子⁵⁾、
伊藤俊広⁶⁾、今橋真弓⁷⁾、江口 晋⁸⁾、
遠藤知之⁹⁾、木内 英¹⁰⁾、阪森亮太郎¹¹⁾、
高橋俊二¹²⁾、照屋勝治⁵⁾、丹生健一¹³⁾、
橋本則久¹⁴⁾、花井十伍¹⁴⁾、藤井輝久¹⁵⁾、
南 留美¹⁶⁾、茂呂 寛¹⁷⁾、横幕能行⁷⁾、
渡邊 大¹¹⁾、渡邊珠代¹⁸⁾、四柳 宏^{1,5)}

- 1) 東京大学医科学研究所
- 2) 東京大学新世代感染症センター
- 3) 保坂サイコロコロジック・クリニック
- 4) はばたき福祉事業団
- 5) 国立健康危機管理研究機構
- 6) 仙台医療センター
- 7) 名古屋医療センター
- 8) 長崎大学病院
- 9) 北海道大学病院
- 10) 東京医科大学病院
- 11) 大阪医療センター
- 12) がん研究会有明病院
- 13) 神戸大学医学部附属病院
- 14) ネットワーク医療と人権
- 15) 広島大学病院
- 16) 九州医療センター
- 17) 新潟大学医学部総合病院
- 18) 石川県立中央病院

036-2 HIV 感染者における悪性腫瘍の発生率と予後

松川敏大^{1,2)}、遠藤知之^{1,2,3)}、長谷川祐太^{1,2)}、
高橋知希^{1,4)}、森木朝子^{1,4)}、長井 惇^{1,4)}、
後藤秀樹^{1,2)}、豊嶋崇徳^{1,2)}

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院感染制御部
- 4) エイズ予防財団

036-3 当院の HIV 陽性者における前立腺癌の特徴

吉田恭子¹⁾、関谷綾子¹⁾、三浦基嗣¹⁾、
山本浩貴¹⁾、相澤陽太¹⁾、鵜飼康平^{1,2)}、
多田周平^{1,2)}、鄭 瑞雄¹⁾、西川ゆかり^{1,2)}、
田中 勝¹⁾、小林泰一郎¹⁾、福島一彰¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤¹⁾、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

2) 東京都保健医療局 感染症対策部 調査・分析課

036-4 当科で経験した肛門管癌 7 症例の検討

金子 竣、村松 崇、大崎俊樹、原田侑子、
宮下竜伊、一木昭人、近澤悠志、備後真登、
四本美保子、天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科